

2026 年 10 月 1 日

報道関係各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

初回 3 万人来場を記録した、心を整える“読書浴”マルシェイベント『読^{よみ}の^{いち}市』
JR 大阪駅で第 2 回、東京ミッドタウンで第 3 回の開催が決定

一本と向き合う新しいライフスタイルを提案。

東京ではデザイン領域と融合し、ウェルビーイングな週末を提供—

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長兼 CEO：高橋 誉則、以下「CCC」）は、「読む」「書く」の魅力を発信するマルシェイベント「読の市（よみのいち）」の第 2 回・第 3 回の開催を決定いたしました。第 2 回は 2026 年 10 月 17 日（土）・18 日（日）に JR 大阪駅「時空の広場」にて開催、第 3 回は 2026 年 10 月 24 日（土）・25 日（日）に東京ミッドタウン主催の「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」のコンテンツの 1 つとして、企画・運営いたします。



■「読の市」とは

「読の市」は、「読む」「書く」に出会う市場をコンセプトに、CCC が 2020 年開催の「二子玉川 本屋博」の姉妹イベントとして立ち上げたブックカルチャーイベントです。2026 年 2 月に都立明治公園で初開催した第 1 回では、2 日間で 3 万人以上が来場し、49 店舗が出店、12,180 点を販売する記録を残しました。

CCC が提案するのは、「読書浴（どくしょよく）」という新たな体験です。森林浴や日光浴になぞらえた造語で、本や書店が醸し出す空気に深く入り、心身を整える時間を意味します。「読の市」は、この「読書浴」がライフスタイルとして定着する未来を目指し、以下を目的として活動しています。

- (1) 「読む」「書く」の可能性をリアルイベントで発信する
- (2) 本屋と文具を応援する
- (3) 読書愛好家だけでなく、潜在読書人口を巻き込み業界を盛り上げる
- (4) 読書浴を通してウェルビーイング体験を提供する

■第2回「読の市」（大阪）概要

第2回は、大阪の玄関口である JR 大阪駅「時空の広場」を舞台に開催します。第2回 読の市実行委員会は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と JR 西日本 SC 開発株式会社（ルクア大阪）で構成しています。会場には 30 店舗以上の書店・文具店が集結し、とほん（奈良）、1003（神戸）、toi books（大阪）、恵文社一乗寺店（京都）など関西各地の名店に加えて、本屋 亜笠不文律、BOOK'N BOOTH など昨年オープンしたいま話題のお店が出店。書籍や文具の販売に加え、小説家や書店主のトークショー、本を通じた出会いを提供するマッチング企画、読の市初のオリジナルグッズ販売など、内容を充実させて展開します。

- ・ イベント名：「第2回 読の市」
- ・ 期間：2026 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）
※雨天決行・荒天中止
- ・ 時間：17 日 10:30～17:00、18 日 10:30～18:00
※17 日は、なにわ淀川花火大会開催に伴う混雑・事故防止のため 17 時終了となります。
- ・ 場所：JR 大阪駅 時空の広場（大阪府大阪市北区梅田三丁目 1-3 大阪ステーションシティ 大阪駅 5F）
- ・ 入場料：無料
- ・ 主催：第2回読の市実行委員会（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社・JR 西日本 SC 開発株式会社）
- ・ 企画：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

主なコンテンツ

- ・ 様々な書店・文具店が一堂に会する出店販売（大手チェーンから独立系書店、新刊・古本、エア書店、移動式書店まで実行委員会がセレクト）
- ・ 今年開業 10 周年を迎える本屋 Title の店主・辻山良雄さんと、誠光社の店主・堀部篤史さんのトークショーや、小説家・青山エリさんのトークショーなど、本の魅力を伝えるステージ企画
- ・ 「本棚で手と手が重なるような出会い」をテーマにした、本を通じたマッチング企画
- ・ 読の市初となるオリジナルグッズ（限定 ZINE、ブックカバー、ステッカー）の販売
事前販売 URL：<https://yominoichi.stores.jp/>
- ・ 読書系インフルエンサー（土肥優扶馬、しんや、空蒼、JIRIKO、来実、マオ）の合同出店

【同時開催】ルクア大阪連携企画 妄想ショップ「わたしの会話ネタ市場」

会話に深みと幅をもたせてくれる“会話のネタ”をテーマにした体験型イベントを、近隣の「ルクア イーレ」にて実施します。

・日時：2026 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）11:00～16:00

※18 日は 15:30 までの開催となります。

・場所：ルクア イーレ 3 階 入口付近

・料金：500 円（税込）※お 1 人様 10 分

・詳細：<https://www.lucua.jp/topics/p-1789068.html>

■第 3 回「DESIGN LIVE MARKET by 読の市」（東京）概要

第 3 回は、東京ミッドタウンが開催する秋のデザインイベント「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」のコンテンツの一つとして、「DESIGN LIVE MARKET by 読の市」を企画・運営します。「デザイン」というものを考えるとき、不可欠な存在である本。会場では、装丁デザインや、写真集・アートブックなど本そのものが与えてくれる気づきをきっかけに“みつめる”体験を提案します。会場には総勢 38 店舗が出店予定で、デザインやアートに特化した書店、青山ブックセンター本店や西村文生堂も登場。「読書浴」という体験にデザインの視点を掛け合わせることで、来場者が新たな感性や自身の心に触れる機会を創出します。

・イベント名：「DESIGN LIVE MARKET by 読の市」

・期間：2026 年 10 月 24 日（土）～25 日（日）

※芝生広場での出店販売は雨天中止、「オヒサマこども書店」・「デザイン＆アートの本棚」は雨天決行

・時間：11:00～18:00

・場所：東京ミッドタウン（芝生広場、ミッドタウン・ガーデン、コートヤード）（東京都港区赤坂 9 丁目 7-1）

・主催：東京ミッドタウン

・企画：第 3 回読の市実行委員会

・入場料：無料

・詳細：<https://www.tokyo-midtown.com/jp/event/designlive/> ※10 月 2 日より公開予定

主なコンテンツ

・目的買いから離れ、自分の心と向き合いながら本を選ぶ「読書浴体験」を提供する出店販売

・初出し企画「オヒサマこども書店」：絵本専門店ニジノ絵本屋とコラボし、子どもだけが本を選び購入できる特別な書店を展開

・クリエイターが推薦した「クリエイションのスイッチを押してくれる一冊」を集めた、六本木未来会議「デザイン＆アートの本棚」が、デザインライブの会場に登場

〈第1回「読の市」の様子〉



2026年2月に開催した第1回では、大手チェーン書店から独立系書店、新刊・古本、エア書店や移動式書店まで、全国から49店舗（書店36店舗、文具3店舗、フード・雑貨10店舗）が集結しました。トークショーや読み聞かせなど計12本のステージ企画を実施し、書籍販売にとどまらない体験の場を提供しました。また、会場では家庭で眠る絵本657冊を回収し、東京都内の教育施設12施設へ寄贈する取り組みも行いました。本イベントは20～30代を含む幅広い層にご参加いただきました。第2回・第3回の詳細な出店者情報やその他コンテンツについては、決定次第、公式サイトおよび公式SNSにて順次発表いたします。

- ・読の市公式サイト：<https://experience-design.jp/yominoichi>
- ・読の市公式Instagram：https://www.instagram.com/yominoichi_official/
- ・読の市公式X：<https://x.com/yominoichi>

【お問い合わせ先】

読の市公式サイト お問い合わせフォーム：<https://experience-design.jp/yominoichi/inquiry>

本件に関するお問い合わせ：

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
広報部
TEL：045-522-8154／MAIL：inquiry@ccc.co.jp